

糸魚川市の生活排水処理状況について

1 生活排水処理フロー

本市の生活排水処理の処理フローは、別図のとおりです。公共下水道、農業・漁業集落排水施設、合併処理浄化槽が整備されている世帯においては、し尿・生活雑排水ともに適切な処理が行われていますが、単独処理浄化槽、くみ取り便槽による処理がされている世帯においては、し尿のみが処理され、生活雑排水は未処理のまま公共用水域に排出されています。

2 生活排水の処理主体

本市の生活排水の処理主体は、下表に示すとおりです。公共下水道及び農業・漁業集落排水施設、下水道投入施設（し尿処理施設）は、市が運営する施設ですが、合併処理浄化槽、単独処理浄化槽については、個人が設置、維持管理をしており、合併処理浄化槽については一部で市町村が運営を行っています。

処理施設の種類	処理主体
公共下水道	糸魚川市
合併処理浄化槽	糸魚川市 個人等
農業集落排水処理施設	糸魚川市
漁業集落排水処理施設	糸魚川市
単独処理浄化槽	個人等
下水道投入施設（し尿処理施設）	糸魚川市

3 生活排水処理施設整備状況

(1) 公共下水道

本市では、磯部、能生、糸魚川、青海の4処理区で公共下水道を進めています。これらの公共下水道の施設整備は概ね終わり、平成29年度における下水道につながる込みができるようになった処理区域の人口は、36,026人であり、その普及率は83.1%となっています。また、水洗化人口は34,872人（水洗化率は96.8%）となっています。

(2) 農業集落排水施設

本市では、市内の能生谷、徳仙処理区を対象に2か所の農業集落排水施設が整備されており、予定した処理区域の整備は完了しています。平成29年度における農業集落排水施設の処理区域人口は1,645人であり、普及率は3.8%であり、水洗化人口は1,568人（水洗化率は95.3%）となっています。

また、西川原地区には簡易排水の施設があり、その処理区域人口及び水洗化人口は44人で普及率は0.1%、水洗化率は100.0%であります。

(3) 漁業集落排水施設

本市では、市内の親不知、市振処理区を対象に2か所の漁業集落排水施設が整備されており、予定した処理区域の整備は完了しています。平成29年度における漁業集落排水施設の処理区域人口は681人であり、普及率は1.6%となっています。水洗化人口は614人（水洗化率は90.2%）となっています。

(4) 合併処理浄化槽

合併処理浄化槽は、個人設置型と市町村設置型により整備を進めています。平成29年度における上記の公共下水道を計画した区域や農業集落排水施設等の処理区域等を除いた区域の4,857人のうち、合併処理浄化槽を使用している方は2,897人であり、その水洗化率は59.6%となっています。この他、公共下水道の区域内で合併処理浄化槽使用者は270人です。

4 生活排水処理人口

区 分		人 口 (人)
行政区域	A	43,352
非水洗化人口	B	3,087
計画収集(くみとり)	C	1,626
単独浄化槽	D	1,461
水洗化	E	40,265
公共下水道	F	34,872
コミュニティ・プラント	G	0
合併処理浄化槽	H	3,167
農業集落排水処理施設	I	1,568
漁業集落排水処理施設	J	614
簡易排水	K	44

(平成30年3月31日現在)

5 収集運搬

本市のくみ取りし尿及び浄化槽汚泥の収集区域は、市全域を対象としています。この内、くみ取りし尿は市内の委託業者(1社)によって収集・運搬されており、浄化槽汚泥は、市内の許可業者(1社)によって収集運搬されています。

6 中間処理

(1) し尿・浄化槽汚泥搬入量(単位:KL)

	H25	H26	H27	H28	H29
し尿	3,237	2,750	2,525	1,983	1,998
浄化槽汚泥	4,247	3,981	3,797	3,697	3,793
計	7,484	6,731	6,322	5,680	5,791

し尿については、公共下水道や合併浄化槽の普及に伴って、減少傾向となっています。浄化槽汚泥については、ほぼ横ばいとなっています。

(2) 搬入し尿・浄化槽汚泥の処理

本市では、搬入されるし尿及び浄化槽汚泥等を前処理のみ行い、希釈後、公共下水道へ放流しています。

(3) 最終処分

本市の公共下水道では、処理過程で発生する下水汚泥を肥料原料やセメント原料に資源化しており、資源化率は100%を達成しています。

平成 30 年度糸魚川市一般廃棄物処理実施計画
生活排水処理フロー

単独処理浄化槽・非水洗化の場合

公共下水道・農業、漁業集落排水施設・合併処理浄化槽の場合

